令和２年度

全国商業経済教育研究協議会

主　催　　公益財団法人　全国商業高等学校協会

目 次

1. 令和 2 年度　全国商業経済教育研究協議会　説明資料 1
2. 令和 2 年度　第 35 回　商業経済検定試験　出題・作問の意図 3
3. 令和 2 年度　第 35 回　商業経済検定試験アンケート集計結果 6
4. 令和 2 年度　第 35 回　商業経済検定試験申込者・受験者・合格者数一覧表 20
5. 令和 2 年度　第 35 回　商業経済検定試験受験者数一覧表 21
6. 商業経済検定試験受験者・合格者数集計一覧表 22
7. 令和 2 年度　第 35 回商業経済検定試験　第 1 級満点賞一覧表 23
8. 令和 2 年度　第 35 回商業経済検定試験　全科目合格者表彰一覧表 24
9. 令和 2 年度　科目別・項目別出題基準 25
10. 令和 3 年度　科目別・項目別出題基準 26

令和２年度　全国商業経済教育研究協議会　説明資料

令和３年３月１５日
公益財団法人全国商業高等学校協会
商　業　経　済　研　究　部

１　はじめに

令和３年３月に実施予定であった，全国商業経済研究協議会が，新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策のため開催中止となりました。２年連続の中止となりますが，各先生方への安全面に配慮した決定となりますので，何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

第 35 回（令和２年度）の商業経済検定試験に関する主な報告，並びに質問や意見についての回答をさせていただきます。

２　検定試験の実施について

令和２年２月７日（日）に実施されました第 35 回商業経済検定試験は，一部の学校でコロナウイルス感染等による検定中止がありましたが，全国一斉に実施することができました。

本検定の受験申込者数（５科目の総数）は，103,151 人であります。新型コロナウイルス感染対策による授業時間の確保や全国的な生徒減の影響で減少傾向にあるなか，昨年度より微減となりました。合格率に関しては，ビジネス基礎 85.4%　マーケティング 66.5%　経済活動と法 53.4%　ビジネス経済Ａ62.8%ビジネス経済Ｂ69.6%でありました。１・２級の科目に関しては，一部の科目で合格率が高い科目もありましたが，全国の本部校からのご意見等をみても，難易度の調整はとれていたかと思います。今後は，合格率に関しても科目間でバランスがとれるように作問をしていきたいと思います。

各都道府県の受験申込者数，各科目の合格率につきましては，資料 20 頁をご参照願います。全科目合格者表彰に関しては，全国 92 校 484 名となり，昨年度より 36 名増加しております。詳細につきましては，資料 22 頁をご参照願います。

３　作問に関して

作問に関しては，12 名の専門委員が４月～１月の間に約 30 回の専門部委員会を開催し，出題内容や事例，教科書の学習内容等を検討し，作問してきました。次年度以降の作問においても，慎重に作問・推敲をして，よりよい問題を出題するようにいたします。

各科目の作問に関しては，資料 25 頁の「令和２年度　科目別・項目別出題基準」から出題しています。本研究部の専門委員のほかに，５名の代表作問委員の先生方にご協力いただきました。

代表作問委員の選出に関しては，全商協会の地区ブロックや受験申込者数を考慮し，順番にそれぞれの地区にお願いをしております。

４　主な質問事項等について

（１）　試験時間と実施科目について

毎年，試験時間と実施科目について多くのご意見をいただいております。試験時間の変更に関しての本部校アンケート結果は，平成 31 年３月実施の全国商業経済研究協議会の資料と令和元年 10 月発行の検定ニュースに掲載させていただきました。

令和２年度 11 月の全商協会の理事会で１・２級科目の 50 分実施が承認されたことを受け，令和４年度の新学習指導要領実施に伴う新科目への移行時に，変更する予定です。

なお，受験科目の開始時間に関しては，各都道府県の受験者の選択等の事情はあるかと思い

ますが，問題漏洩等を防ぐ観点から，実施要項どおり，規定の時間で実施願います。

（2） 実施の時期について

実施の時期に関しては，商業経済検定試験規則にて，年１回２月の実施と規定されております。各学校の行事が重なったり，日本商工会議所のリテールマーケティング（販売士）検定のリンケージ制度との活用が難しいとのご意見がありますが，今後もご理解とご協力をお願いいたします。

（3） 新学習指導要領の実施に伴う検定試験の科目について

新学習指導要領の実施に伴う検定試験の科目は，平成31年２月２日付け，全商協会課題検討委員会の「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会の各種検定試験等のあり方について」（答申）により，実施科目・実施時期が示されております。（令和２年11月14日一部追加　全商協会Ｗｅｂページ掲載）

商業経済検定試験に関しては，「ビジネス基礎」「マーケティング」「商品開発と流通」「ビジネス・マネジメント」「ビジネス法規」の５科目実施，実施時期は２月となっております。

新検定試験への移行に関しては，令和４年度に新科目「ビジネス基礎」　令和５年度に新科目「ビジネス・マネジメント」「マーケティング」　令和６年度に新科目「商品開発と流通」「ビジネス法規」となります。現行科目の「ビジネス基礎」が令和３年度　「マーケティング」が令和４年度　「経済活動と法」「ビジネス経済Ａ」「ビジネス経済Ｂ」が令和５年度までの実施となります。

実施科目の順番につきましては，生徒の履修状況や教科書の採択状況等を踏まえ，本研究部内で検討し，令和２年度の全国商業経済研究協議会までには，提示できるように努めます。

（4） 法改正に伴う出題について

法改正に伴う出題に関しては，教科書で学習した生徒に不利益がないように，法改正によって教科書と異なる事象について，直接的な内容として出題することを避けながら作問をいたします。

（5） 漢字表記について

一部の科目で，記述する漢字が難しいなどのご意見がありました。受験科目の教科書で理解して欲しい内容，記述して欲しい専門用語でありますので，普段の授業でも指導をお願いします。

（6） 全商Ｗｅｂシステムに関して

全商Ｗｅｂシステムの処理に関して，ログインできない・三種目以上１級合格者表彰の登録に支障がでたなどの意見を多数いただきました。アクセスの集中により非常に繋がりにくい状況が発生し、大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

次年度に向けては、合格者データのアップロード締め切り日を早めることにより、サーバーへのアクセス集中を回避したいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

６　各科目の意見　作問の意図について

科目に関するご意見，第35回商業経済検定試験の各科目の作問の意図につきましては，資料３頁を参照願います。

以　上

令和２年度　第35回　商業経済検定試験　出題・作問の意図

【ビジネス基礎】

今回の検定問題では，基礎的・基本的事項を中心に出題し，「科目別・項目別出題基準」に沿って作問した。「ビジネス基礎」の検定取得を契機に，商業経済検定１・２級取得への励みになればと考えている。

1は「小売業」について，それぞれの内容や特徴を理解しているかを問う内容を出題した。2はビジネスの担い手として「普通銀行」の業務に関する特徴を理解しているかを問う内容を出題した。

3は「経済主体と経済の循環」について，基本的な用語について出題した。4はビジネスと売買取引に関する用語や計算問題を出題した。5は「経済のしくみとビジネス」について，コンビニエンスストアを題材に出題した。本文では「セルフレジ」，「無線レジ」にも触れ，レジの形態が変わりつつある流通業界の話題を取り入れた。

6は「ビジネスとコミュニケーション」について，新入社員の電話応対の様子を通して各コミュニケーションに関する基本的な内容を出題した。7は「社会的課題とビジネスチャンス」について，バイオマス発電所を題材にして，循環型社会，エネルギー供給，環境保全の基本的な内容を出題した。本文中のＡ社は住友林業をモデルとした。8は「卸売業の役割」について，取引総数最小化の原理と不確実性プール原理を中心に，卸売業が果たす役割について出題した。

9は「物流業」について，船舶輸送の基本的な内容を出題した。本文では三国間貿易にも触れ，コンテナ事業の動向も盛り込んだ。Ａ社は日本郵船(コンテナ船事業はＯＮＥジャパン)をモデルにした。10は企業活動の基礎として経営理念や株主総会，出資（所有）と経営の分離について出題した。本文中のＡ社は楽天を参考とした。

11は企業活動の基礎として，「雇用」について基礎的な内容を出題した。わが国における雇用の特徴としての終身雇用や，労働者の権利が守られるよう，企業が守るべき法律について出題した。12は高校生がイメージしやすいよう，八ヶ岳高原エリアで開催されていた「寒いほどお得フェア」を事例として挙げ，売買取引について必要な基礎的な知識や計算を理解できているかを問う内容を出題した。

13はパン店がエスプレッソマシンを購入し，小切手で支払う事例を問題とした。〔Ⅰ〕では売買契約の締結まで，〔Ⅱ〕では売買契約の履行までを出題した。売買取引の一連の流れについて，売買契約に必要な書類やその内容について理解しているかを問う内容とした。

ビジネス基礎は，商業科目の基礎的な科目として，その知識について本文をよく読み，内容を理解したうえで解答をしてもらえるよう留意して作問した。生徒たちがこの知識を基として，商業科目のさらに発展した知識の習得につながればと期待したい。

【マーケティング】

学習指導要領における目標・ねらいを考慮し，概ね「科目別･項目別出題基準」に沿って出題した。作問にあたり，科目としてふさわしい内容，文章構成になるように努め，２社の教科書を参考に基礎的・基本的な出題をするように心がけた。出題形式に関しては，記号選択問題41問，記述問題9問とした。記述問題については２社の教科書に記載されている用語を出題するようにした。

1 2は，現代市場とマーケティングからの出題とした。1は，戦後の日本経済の発展に伴う消費の動向の変遷や環境問題，購買行動について出題した。2は，ＳＴＰの手順とそれによる４Ｐ政策などについて出題した。

3は，市場調査からの問題とした。本文を［Ⅰ］［Ⅱ］とし，［Ⅰ］は，状況分析と予備調査について，［Ⅱ］は，本調査に関する内容として，市場調査についての理解・知識を問う問題とした。

4は，消費者の購買行動からの出題とした。本文を［Ⅰ］［Ⅱ］とし，［Ⅰ］は，製品のライフサイクルの導入期についての問題とし，［Ⅱ］は，製品のライフサイクルの成長期から衰退期について

の問題とした。

5～7は，商品計画と価格の決定からの出題とした。5は，季節家電を事例として，販売予測の方法や売上目標高の設定，販売割当など，販売計画についての問題とした。6は，仕入計画についての問題とし，品揃えの方針や仕入先決定の政策，在庫高の調整などについて出題した。7は，販売価格の設定方法や価格政策など，販売価格の決定についての問題とした。

8～12は，販売経路と販売促進からの出題とした。8は，チャネル政策の問題とした。伝統的経路やネット通販の利点などについて出題した。9は，ＳＰＡの企業を事例として取り上げ，販売経路の系列化について出題した。10は，販売促進の進め方について，とくに広告による販売促進戦略や広告効果の測定について出題した。11は，インターネット広告について，その特徴や内容などを問う問題とした。また，時事問題としてサブスクリプションについて出題した。12は，販売員活動についての問題とした。従業員訓練や手順の内容，名称などについて出題した。

これらの問題を通じて，経済社会や各企業のマーケティング活動に目を向け，常にその変化を意識して欲しいと考えている。そのため，教科書に記載されていない内容に関しては時事問題として出題したが，本文をよく読むことで内容が理解でき，正答が導き出せるように配慮した。

【経済活動と法】

各出題分野から作問し，おおむね「科目別・項目別出題基準」に沿って出題した。法律に対して難しいというイメージをもつ生徒が多いと考えている。そのため，生徒に馴染むような身近な話題や時事的要素を取り入れ，教科書でしっかり学んでいれば解答できるように作問するよう心掛けた。

1 2 は経済社会と法，法の意義と役割から出題した。経済活動と法の導入の分野であるので，基本的な出題になるように心掛けた。

3～7は権利・義務とその主体，物と財産権，知的財産権から出題した。ほぼ毎年出題されている問題なので過去問題や事例検討などで学習すれば得点できると考えている。

また，近年，知的財産権に関する知識は必須であり，その基礎的な内容を理解してほしいと考えて8で出題した。

9～16は財産権と契約，物の売買，貸借，契約によらない財産権の変動，財産権の保護から出題した。意思表示や動産の売買，債務不履行や妨害予防請求権など均等に出題した。賃貸借や消費貸借などは，今後の生活において必要であるという観点から出題した。また，連帯債務や連帯保証債務などは，実例として知っておいてほしい内容であると思い出題した。

選択問題Ⅰの会社に関する法の1は，小切手について出題した。簿記やビジネス基礎，総合実践などでも扱う内容であり，より一層理解してほしいと考え出題した。2は，株式会社における株主総会についてから，出題した。

選択問題Ⅱの企業の責任と法の1は労働と法と法令遵守から出題した。近年，コンプライアンスやアカウンタビリティなどは，高校を出て会社で働いてもすぐに研修で教わる内容である。ぜひ社会人になる前に知っておいてほしいと考え，今年度も出題した。2は，消費者と法から出題した。消費者と法からの出題は平成28年度第31回検定以来の出題である。選択問題は，難易度や記述問題が偏らないようにバランスをとって作問するように心掛けている。

2020年４月に改正民法が施行された。これに伴い，教科書の記載も変更されている。今後も，改正民法で消える用語や変わる事柄は，慎重に検討し，本文を工夫するように心掛けたい。また，教科書出版会社２社の動向や新学習指導要領の動向も探求しながら，作問につとめていきたい。

【ビジネス経済Ａ】

学習指導要領における「ビジネス経済」の目標・ねらいを考慮し，おおむね事前に提示した「科目別・項目別出題基準」の通り出題した。

出題形式に関しては，ほぼ例年通りとし，記号問題44題，記述式問題６題とした。

「ビジネス経済」では，「ミクロ経済学」・「マクロ経済学」の基礎的な知識を学習し，経済のしくみや概念について理解させ，経済理論から，価格

の決定・景気の循環・経済政策の影響などに着目し，経済事象を主体的に考察する能力と態度を育てることが求められる。

教科書を見ると，他の科目と比較して，用語が難しいなどのイメージがあるため，できる限り教科書の事例や，最近のニュースなどを題材とし，高校生にとってイメージしやすい事例を出題するように心がけた。

また，作問にあたり，１・２級の他科目と重複する内容については，科目間で調整した。

1は，豊洲に移転した東京都中央卸売市場を事例として資源配分に関する出題をした。2は，貨幣の役割と合わせて，市場経済の特徴に関する出題をした。3は，コンビニエンスストアの事例から需要に関する出題をした。4は，供給曲線に関するグラフや供給の価格弾力性などの供給に関する出題をした。

5は，コロナウイルス感染症の影響下でのマスクの価格を事例として需要と供給の変化に関する出題をした。6は，寡占と参加企業間の競争関係に関する出題をした。7は，ゲーム理論に関する出題をした。

8は，ＧＤＰ(国内総生産)とＧＮＰ(国民総生産)に関する出題をした。9は，三面等価に関する出題をした。10は，わが国の経済成長に関する出題をした。11は，景気変動に関する出題をした。

12は，財政における政府の役割に関する出題をした。13は，財政赤字と国債に関する出題をした。14は，わが国の金融政策に関する出題をした。

最後に，「ビジネス経済」では，理論を扱いながら実際の経済を読み解くことが必要になる。理論と実際のバランスをとれるような指導をお願いしたい。高校生にとって少しでも興味・関心を引き出せるような出題を心がけていくので，今後も受験を奨励して頂ければ幸いである。

【ビジネス経済Ｂ】

学習指導要領における「ビジネス経済応用」の目標・ねらいを考慮し，おおむね事前に提示した「科目別・項目別出題基準」の通り出題した。作問にあたっては，科目としてふさわしい内容，文章構成になるように努めた。

1は，国勢調査における就業者数から，わが国の産業構造の変化や，産業構造を促す要因について知って欲しいと考え出題した。2は，対事業所サービス産業について理解して欲しいと考え，航空会社のＡ社の事例を題材として出題した。

3は，近年さらに広がりをみせているグローバル化について，その背景とともに理解したうえで地域経済統合や製品の規格の統一についても知って欲しいと考え出題した。4は，わが国の国際収支状況を知ったうえで，国際収支の発展段階説と絡めて理解を深めてもらいたいと考え出題した。

5は，貿易に関する基本的な知識を理解したうえで，わが国の企業が生産拠点を国内に回帰している動きについて知って欲しいと考え出題した。6は，国際的な資金の移動である国際資本移動について，公的な資本移動と民間の資本移動に大別して理解したうえで，その現状や問題点などの理解を深めてもらいたいと考え出題した。

7は，金融取引について知ったうえで，わが国の金融取引の現状や傾向について理解を深めてほしいと考え出題した。8は，わが国の金融構造の中心である間接金融について，預金準備率や信用創造などと絡めながら理解を深めてほしいと考え出題した。

9は，日本的経営の三つの特徴の理解と，近年のグローバル化の進展にともない，新たな経営システムが必要となっている，という現状を理解して欲しいと考え出題した。10は，メーカーのＡ社の事例を題材として，企業の社会的責任について理解を深めてもらいたいと考え出題した。

11は，わが国の企業が行ってきた海外直接投資，また，企業が海外進出する理由について理解して欲しいと考え出題した。12は，企業経営の現地化について，食品メーカーのＡ社を海外進出の成功例として題材とし，どのような現地化があるかについて理解して欲しいと考え出題した。

13は，Ａ社の事例を題材として，ベンチャー企業について，さらに，支援体制について理解して欲しいと考え出題した。14は，Ａ市で行われている地域ビジネスの事例を題材として，地域のビジネスなどについて理解を深めてもらいたいと考え出題した。

令和２年度　第３５回　商業経済検定試験アンケート 集計結果

公益財団法人全国商業高等学校協会
商　業　経　済　研　究　部

[1] 一般事項について

1.　次の各事項について，該当する記号をご記入ください

・記述式解答について

ア．増やしてほしい	0	0.0%
イ．現行でよい	30	100.0%
ウ．減らしてほしい	0	0.0%

・時事問題の取り入れについて

ア．増やしてほしい	0	0.0%
イ．現行でよい	30	96.8%
ウ．減らしてほしい	1	3.2%

2.　検定試験の実施科目(5科目)，実施時期についてご意見がありましたら，お願いします

可能であれば時期は早いほうがよい。3年生が受験する学校が多く、満点合格、全科目合格、複数種目での1級取得などで対応する時間が短い。(群馬)
受験生の多くは3年生が中心となるので、実施日の2月には概ね進路が決まっている生徒がほとんどである。現行の2月では、申し込みをしても欠席をする生徒もおり、12月より前に実施できないかという意見があった。(山梨)
実施科目は、新教育課程に合った科目に変更を考えていただきたい。(静岡)
実施時期は、2月実施だけでは、3年生が推薦条件として進学に使えるのは2年次までなので、ビジネスコミュニケーション検定と同じ日(7月)に2科目だけでも良いから実施をして年2回にしていただきたい。(静岡)
現行のままでよいと思います。(愛知・滋賀・兵庫)
実施科目(5科目)、実施時期ともに現状通りでよい。(三重)
このままでよい。(和歌山)
科目、時期とも現行でよい。(鳥取)
種検定試験の締め括りとして、5科目合格も目指せ、深く考えることもできるため適切である。(愛媛)
前期入試と重なり様々な県で対応が難しい時期ではあると思うが、授業の都合上この時期になってしまうと思います。(熊本)

３．その他ご意見がありましたらお願いします

このアンケートを他の検定のように試験場校がWebからダウンロードして本部校が集約する形はとれないでしょうか。（北海道）
今年度のビジネス基礎の合格率が高いのでは（岩手）
検定試験当日、全商のHPへ繋がりにくいと試験場校より問題の訂正の確認電話が入りました。即、対応ができたので問題はおきておりません。（千葉）
このアンケートは、本部校だけでなく全ての試験場校に配付すべきです。そうしないと、ほとんど改善されない状態です。全商協会に直接メールせず、県本部で集約して提出させれば、各県の意見として反映されると思います。受験していない科目は受験している学校にしかわからない意見があると思います。（静岡）
どの科目も一年間地道に学習してきているかどうか確認できる出題であり、時事問題や例題などしっかりと練られた出題が多く問作の先生方の労苦に敬意を表したい。（鳥取）
コロナのため5月末まで休校措置がとられ、学習の進度にも影響があった。それを考慮しながらの作問のため非常に苦労されたのではないかと考える。そのため、過去に出題された内容と同じような内容が出題されていたように感じる。（岡山）
受験票の配置等をあまり変更しないでいただきたい。（山口）
バイオマス発電や再生可能エネルギーなどの時事問題も適切で工夫された良問である。（愛媛）

4.「新学習指導要領の商業経済検定試験関連科目の開設等」について

※1　回答都道府県本部校　29校

※2　同一校で複数学年にて選択科目として履修予定校があるため、(2)・(3)の合計数は一致しません

(1) ビジネス基礎

1学年		2学年		3学年	
全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修
27			2		

※ ビジネス基礎は，商業に関する学科における原則履修科目です。履修計画のない場合は，その理由を記述してください。(例. 総合学科　学校設定科目で代替)

記載なし

(2) マーケティング分野

	1学年		2学年		3学年	
	全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修
マーケティング			6	19		9
商品開発と流通				7		11
観光ビジネス				4		16

(3) マネジメント分野

	1学年		2学年		3学年	
	全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修	全生徒履修	選択科目として履修
ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ				3		11
グローバル経済				3	1	16
ビジネス法規				4	3	17

(4) 新検定試験の実施に向けてのご意見・ご要望等がありましたら記入願います。

この分野の学習の喚起として各分野の検定を2部門にして頂きたい。基礎問題部門として各分野、用語理解を中心とした内容30分程度、応用問題部門として現行のような内容30分程度、電卓実務や文書実務のように検討して頂きたい。(長野)
商業経済検定試験に新教育課程の新科目が加われば、その科目を開設させるようになるが、検定試験に加わらなければ、広告と販売促進のように開設率が低くなる。(静岡)
新検定においても、従来の「国内外の情勢を正しく理解できる能力の育成」を目指す内容であることを願います。特にアフターコロナにおける、この検定の重要性が認知されるよう、岐阜県としても積極的に受験者を増やす活動をしていきたいと思います。(岐阜)
生徒に不利がないように、事前に想定問題等を提示していただきたい。(三重)
現在の商業経済検定と同じでよい。(滋賀)
模擬問題や検定プレ問題などを早めにお知らせいただき、生徒が検定に取り組み易いようにお願いします。(長崎)
まだ、新教育課程において、検定に取り組むかは検討中ですが、実施前にプレ問題等が提供してもらえたらいいと思います。(沖縄)

[2] 「ビジネス基礎」について

1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア．適　切【２２】　　イ．概ね適切【５】　　ウ．不適切【０】

その理由についてご記入ください。

基本に忠実で理解しやすい内容であったと思います。（北海道）
奨励級としての役割を担っているので，易化傾向でちょうど良いのではないかと思う。（宮城）
奨励級としての役割を担っているので，易化傾向でちょうど良いのではないかと思う。（宮城）
基本をまんべんなく抑えた良問だったと思う。（富山）
生徒にとっても解ける問題であったといえる。（長野）
全体として良問であった。（岐阜）
昨年度解答用の様式が前年度と違い解答欄の記入ミスで不合格した生徒が数名出たが、今年度は改善されたのでよかった。（三重）
例年通りの合格を得ることができたため。（大阪）
過去の問題の難易度と同じくらいだったため。（兵庫）
良問でした。簡単な問題が多くある印象でした。（島根）
良問であった。（岡山）
基礎的・基本的な内容であり、適切でした。授業時数減少の影響を考慮した作問がなされていたと思います。（山口）
記憶だけでの問題でなく、文章を読んで考える問題など幅広い問題が出題されているため。（香川）
基礎・基本的事項を網羅した良問で、環境に関する問題など時事問題も含まれており、理想的な出題であった。（愛媛）
問題量、難易度共にバランスが良かった。（愛媛）
ビジネス基礎の基本的な知識を問う良問であり、よく工夫された問題だった。（長崎）
出題形式が例年とほとんど代わらずに構成されていた。（熊本）

2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください
また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

形式	番号	難しい	適切	易しい	記　事
直接解答型	1	0	19	7	出だしの問題として解答しやすく良問である。（鳥取）
	2	0	23	3	良問。（鳥取）
	3	0	23	3	良問。（鳥取）
	4	0	23	3	解答群がなくても良いのでは。（富山） 良問。（鳥取） 「従来の出題形式でよいのでは」という意見がありました。解答欄を間違えないよう配慮されていました。ありがとうございます。（山口）

形式	番号	難しい	適切	易しい	記　事
本文参照型	5	0	25	1	難易度は高くないが出題としては適切。(鳥取) 文字数で考えると、フランチャイズチェーンしか入らないので、文字指定は不要ではないか(愛媛)
	6	1	24	1	良問。(鳥取) 問4　問題の文章に「見て」を入れて出題しないと問題の理解が難しい。(熊本)
	7	0	23	3	良問。他科目との関連性あり。(鳥取)
	8	0	25	1	実力の差が出るところ。出題としては妥当。(鳥取) 図1、図2から取引回数を求めるのは数学的な問題でもある。(香川) 教科書では3対3の取引で習ったが、応用できるかどうか。(愛媛)
	9	0	26	0	良問。(鳥取) 問1の発問は,「適切なものを」の方がよいかと思います。(山口)
	10	0	25	1	良問。(鳥取)
	11	1	25	0	最新のデータで良かった。(富山) 1年生としては確実に解答したいところ。(鳥取) 問1 「毎年4月に～定期採用し」が入ると答えが2つになる恐れがある。(熊本)
	12	1	25	0	問題文も良く、出題としても適切。(鳥取) 割引率換算表を的確に読み、計算できるかどうか。(愛媛) 問1　建と勘違いして「ア」と回答する生徒がいた。(熊本)
	13	0	26	0	実力を見るのに良く練って問作された出題である。良問揃い。(鳥取)

3. その他ご意見がありましたらお願いします

用語を直接問う題を少なくしても良いかと思います。(北海道)
今回の検定には出題されていなかったが、とうほう・・・申告納税制度　実教・・・申告納税方式と、2つの問題集に出てくる用語が異なっていた。明確な違いが無ければ、生徒の混乱を避けるため、統一して頂くようお願いしたい。(岐阜)
問題文について、高校生が身近に感じる時事問題が有るとより、問題から得られることが多くなると思う。(岐阜)
基礎・基本の徹底という面でしっかりと練られた良問揃い。難易度としては例年に比べ易化したと思いますが、奨励級として適切。(鳥取)

[3] 「マーケティング」について

1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア．適　切【6】　　イ．概ね適切【１６】　　ウ．不適切【　0】

その理由についてご記入ください。

時代背景に合わせた問題や基本的な要点をおさえた良問と思います。(北海道)
事例も興味が引くものが多く，生徒の理解を問う良問と感じた。(宮城)
教科書の学習内容をしっかり理解出来ているか評価できる問題になっている。(富山)
生徒にとっては多少難しいと感じるところもあったが、最後まで取り組んでいた。(長野)
各分野から出題されており、良問であった。ただ、例年に比べて平均点が高いと感じた。(愛知)
教科書の内容・要点が網羅されており、良問であった。(岐阜)
用語と記号問題の配分がよかった。(滋賀)
例年通りの問題であったため。(大阪)
事例についても生徒がイメージしやすい内容の問題が多く、難易度も適切だったように思う。(和歌山)
難易度は若干下がったかもしれないが、学力を見るのにしっかりと問作されたすばらしい良問揃いである。(鳥取) 良問でした。(島根)
全体的に例年並みの難易度で，過去問をしっかり学習している生徒はできたと思います。(山口)
全体的に読みやすく解答しやすい。(香川)
出題範囲を網羅した問題であり、適切な問題構成であった。(愛媛)
基本的な学習事項を問う問題であり、学んだ内容をしっかり発揮できる内容であった。(愛媛)
時事を取り扱った問題で身近なものとして考えることができるなど、全般的に適切な良問であった。(愛媛)
過去問と難易度も変わらず良問だった。(長崎)
読み取りづらい問題は少しあったが、全体的に適切だと思った。(熊本)

2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください
また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記　事
1	0	27	3	良問であった。(静岡) 出だしの問題として解答しやすく良問である。(鳥取) どちらかと言えばビジネス基礎の内容。(熊本)
2	0	29	1	良問であった。(静岡) 押さえておきたい内容であり、良問。(鳥取)
3	0	29	1	良問であった。(静岡) 正確に記述できる力を求めるなど良問揃い。(鳥取)
4	1	27	2	良問であった。(静岡) 解答しやすく良問。(鳥取) 「ラガード」でしか覚えていない生徒は答えられませんでした。〔Ⅱ〕1行目「新製品の採用者は一般大衆向けにシフトする」は正しい表現でしょうか。(山口) 問4　の書き問題が難しかった。選択問題が良かった。(熊本)

番号	難しい	適切	易しい	記　事
5	2	28	0	良問であった。(静岡) ここでも正確に記述できる力を求めるなど良問揃い。(鳥取)
6	0	30	0	良問であった。(静岡) 問4の正答率が低いかもしれないが、全体として出題としては適切。(鳥取)
7	1	29	0	良問であった。(静岡) 良問揃い。(鳥取) 計算問題の指導不足を感じた。(熊本)
8	1	28	1	良問であった。(静岡) 良問揃い。問3は解答に迷うかもしれないが、アンダーラインの前部分を読めば解答を導き出すことができる。(鳥取)
9	3	27	0	良問であった。(静岡・鳥取)
10	0	29	1	プルとプッシュは文字指定でなく空欄多めと戦略で良い。(静岡) 問題文、設問とも良問。問3ではカタカナ2文字とあったことは良かったと思う。(鳥取)
11	1	29	0	良問であった。(静岡・鳥取) スマホを持たない生徒には不利かもしれません。(山口) サブスクリプションに焦るかもしれないが文章を読めば推測できる。(愛媛)
12	1	27	2	良問であった。(静岡) 難易度は低いが良問。(鳥取) 新型コロナウイルス感染症をキーワードにリアルな設定であったと思う。ビッグデータの活用を視点にした、違う業界での問題設定ならばよりリアル感を感じられたと思います。しかし、社会情勢をタイムリーに捉えた出題であり、問題作成担当にあたられた先生方に敬意を表します。全体的に易しい設問であった。(島根) テストクロージングにとまどうかもしれないが、言葉から推測できる。(愛媛) 適問ではあるが、用語が難しいと感じた。(熊本) 全体的に問題内容が分かりやすく表現されていて解きやすかった。現在，インターネットを利用できる環境が整っているため，問題もそのような問題が多かった。(鹿児島)

3. その他ご意見がありましたらお願いします

合格率も上がり、優しかったのでしょうか。(北海道)
「上澄吸収価格政策」の問題は、「漢字で書きなさい」との明記があった方が良いと思う。(岐阜)
全体的に作問側の考え、意図が良く伺える出題であり良問揃いと感じる。解答に迷う場合も、問題文全体をじっくり読みこみしっかりと考え抜く力があれば正答できる。例年より難易度の面では少し下がったかもしれないが、今回の出題の難易度は適切であり、量的にもここくらいまでが適切であると感じます。(鳥取)
かなり合格率が高かったので問題のレベルが優しかったようにも感じる。(愛媛)
検定時間を50分にしてはどうか。生徒の集中力がもたない。(熊本)

[4] 「経済活動と法」について

1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア．適　切【２２】　　イ．概ね適切【６】　　ウ．不適切【０】

その理由についてご記入ください。

問題が網羅されていて良かったと思います。(北海道)
教科書を学習していれば十分に対応できる問題である。(富山)
生徒にとっても解ける問題であったといえる。(長野)
基礎基本をおさえていれば合格点が取れる問題であると感じた。(愛知)
全体として良問あった。(岐阜)
例年並みの問題であったため。(大阪)
基本的な法律問題から出題されている。(和歌山)
難易度は例年と変わらないのではないか。良問揃い。このレベルを維持してほしい。(鳥取)
教科書に沿った内容であり、良問である。(岡山)
内容が教科書に準拠していた。(香川)
基礎的な出題で、質・量ともに適切であった。(愛媛)
問題の難易度が過去問題とほぼ同じであり、それぞれの問題の難易度のバランスも良く、選択問題と記述問題のバランスも良い。(愛媛)
やや難しい出題がありながらも、全体的にバランスが取れている。(長崎)

2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください
また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記　事
1	0	24	4	良問であった。(静岡) 基本的なところでありおさえておくべき内容。優しいが、適切、妥当な出題。(鳥取)
2	0	26	2	良問であった。(静岡・鳥取)
3	1	23	4	良問であった。(静岡・鳥取)
4	0	26	2	良問であった。(静岡) 押さえておきない基本的な内容。良問。(鳥取)
5	0	26	2	良問であった。(静岡) しっかり解答したい出題。良問。(鳥取)

番号	難しい	適切	易しい	記　事
6	0	26	2	良問であった。(静岡) 問題文、設問とも良問。(鳥取) 下線cは「保佐人であるAさんに対して～」の方が会話の「」が生かされると思います。(山口)
7	0	28	0	良問であった。(静岡) 問題文、設問とも良問。(鳥取)
8	1	26	1	良問であった。(静岡) 問題文、設問とも良問。(鳥取)
9	0	27	1	実教出版の教科書には示されていない言葉が出てきていた。(北海道) 良問であった。(静岡) 正答率は高くないかもしれないが良問である。(鳥取)
10	1	25	2	良問であった。(静岡・鳥取)
11	1	27	0	「復代理」まで触れる必要があるのか。(北海道) 良問であった。(静岡) 問4はしっかりと考えさせる出題。よく練られた出題揃い。(鳥取)
12	0	28	0	良問であった。(静岡) 問3はしっかりと考えさせる出題。よく練られた出題揃い。(鳥取)
13	2	26	0	良問であった。(静岡) 問3はしっかりと考えさせる出題。よく練られた出題揃い。(鳥取)
14	0	27	1	良問であった。(静岡) 問2で迷うかもしれないが大問としてはバランスよく出題されている。(鳥取)
15	0	28	0	良問であった。(静岡) 問3迷うかもしれない。全般的に良問。(鳥取)
16	2	26	0	良問であった。(静岡) 問3は記述させてもいい出題。(鳥取)
会社に関する法1	0	26	1	良問であった。(静岡) 正答率は高いと思われるが出題としては適切。(鳥取)
会社に関する法2	1	26	0	良問であった。(静岡) 正答率は高いと思われるが出題としては適切。(鳥取)
企業の責任と法1	0	27	1	良問であった。(静岡) 問1では、○○規則として2文字記述させる出題であっても良かった？ 大問としては良問である。(鳥取)
企業の責任と法2	0	26	2	良問であった。(静岡) 問2の正答率は高くないと思われるが、出題としては適切。(鳥取)

3. その他ご意見がありましたらお願いします

特に選択問題は、時事とリンクしている問題となっていて良問であった。(岐阜)
真面目に学習に取り組めば得点につながる良問揃いであったと思います。(鳥取)
時事問題は増やしても良いと思う。(長崎)

[5] 「ビジネス経済Ａ」について

1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア．適　切【２２】　　イ．概ね適切【６】　　ウ．不適切【０】

その理由についてご記入ください。

時代背景も問題に取り入れ良い問題が多かったと思います。(北海道)
良問であった。ただし、4については下記の問いについて出題方法に工夫が必要だったと思う。(富山)
難易度に関しては生徒のレベルでは難しいと感じるが、教授した内容を考えると適切である。(長野)
経済を時事問題や身近な事象に絡め、よく工夫された出題であった。(愛知)
全体として良問あった。(岐阜)
特に難しい問題もなく例年通りの問題であった。(大阪)
教科書「ビジネス経済」に準じた内容である。(和歌山)
難易度は下がったかもしれないが、学習した内容がしっかりと反映された良問揃いである。(鳥取)
教科書に沿った内容であり、良問である。(岡山)
時事問題を積極的に取り入れた良問であった。(愛媛)
基礎的な知識があれば解ける問題が多く、質・量ともに適切であった。(愛媛)
教科書の内容、時事問題がきちんと出題されている。(長崎)
用語、理論共に難易は職業人として求められるレベルに合致している。(熊本)

2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください
また，ご意見がありましたら，その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記　事
1	0	26	2	良問であった。(静岡) 問3ウの選択が分かりにくいという声があった。(岐阜) 解答しやすく、大問1として適切。(鳥取)
2	0	24	4	良問であった。(静岡) 難易度としても適切。(鳥取)
3	1	26	1	良問であった。(静岡) 難易度としても適切。(鳥取)
4	1	27	0	理解度を求める良い問題でした。(北海道) 問1・・・次ページに図があったため、解答が示されている。(富山) 良問であった。(静岡) 力の差が出る内容であり、出題として適切。良問である。(鳥取) 問4の正答率が低かったです。グラフをイメージしにくい生徒が多い。(島根)

番号	難しい	適切	易しい	記　事
5	0	27	1	理解度を求める良い問題でした。(北海道) 良問であった。(静岡) しっかりとおさえておくべき内容。良問。(鳥取)
6	0	26	2	良問であった。(静岡) しっかりとおさえておくべき内容。良問。(鳥取)
7	3	25	0	良問であった。(静岡) 問2で寡占と解答する受検生も多いと思われるが、問題文、設問とも適切。(鳥取) 問2複占　の正答率が低かったです。　(島根) 問2で寡占と書いた生徒が目立ちました。(山口)
8	2	26	0	良問であった。(静岡) 良問揃い。理解力を問うのによく練られた内容、出題。(鳥取)
9	0	27	1	良問であった。(静岡) 確実に正答したい部分。難易度は高くないが、こうした出題も必要。 良問である。(鳥取)
10	0	27	1	良問であった。(静岡) 良問揃い。(鳥取)
11	1	27	0	良問であった。(静岡) 学習内容が確認される良い問題。問1はハイパーインフレのこともあり、記号問題で良かった。問2もよく考えさせる良い出題。すべて良問。(鳥取)
12	0	26	2	良問であった。(静岡) 良問揃い。(鳥取)
13	1	26	1	良問であった。(静岡) 理解力を見るのによい問題ばかり。(鳥取)
14	0	27	1	良問であった。(静岡) 良問揃い。(鳥取)

3. その他ご意見がありましたらお願いします

例年の傾向を押さえており、良問であった。(岐阜)
社会状況を反映した出題も見られたが、細部にこだわり過ぎない、適切妥当な出題であったと思います。 一年間の学習が生かされる出題であり、良問揃いでした。(鳥取)

[6] 「ビジネス経済B」について

1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア．適　切【１９】　　イ．概ね適切【６】　　ウ．不適切【１】

その理由についてご記入ください。

昨年度よりも合格率が下がったが、内容を理解していないと解答できない良い問題だと感じました。（北海道）
教科書に準拠した問題が出題されているので適切である。（富山）
難易度に関しては生徒のレベルでは難しいと感じるが、教授した内容を考えると適切である。（長野）
今までの出題傾向から変化があり、とまどった生徒がいた。（静岡）
教科書の内容がバランス良く出題されていた。（岐阜）
特に難しい問題もなかったため。（大阪）
全般的に時事問題も取り入れた良問であった。（和歌山）
難易度は例年とあまり変わっていないと思われるが、よく練って考えられた出題であり全体的に良問である。（鳥取）
教科書に沿った内容であり、良問である。（岡山）
出題範囲を網羅した問題構成であり良問であった。（愛媛）
全体にバランスが良く出題され、時事問題も取り入れられている。（長崎）

2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください
また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記　事
1	0	25	0	良問であった。（静岡） 押さえておきたい内容であり、難易度としても適切である。（鳥取）
2	0	23	2	良問であった。（静岡・鳥取） 問1の設問は，「適切なものを」の方がいいかもしれません。（山口）
3	0	25	0	問4の例示が違うものが良いのでは。（北海道） 良問であった。（静岡） 良く練られた良問揃い。（鳥取）
4	2	22	1	良問であった。（静岡） 苦手意識から正答率は高くないのではと感じるものの、出題として妥当、良問。（鳥取）

番号	難しい	適切	易しい	記　事
5	0	25	0	良問であった。(静岡) しっかりと練られた出題で良問揃い。問3の記述解答も良問。(鳥取)
6	0	25	0	良問であった。(静岡) しっかりと考えさせ、どの設問も難易度を含め適切な出題である。(鳥取)
7	2	23	0	良問であった。(静岡) 問4の正答率が高くないと思われるが、全体を通して良問。(鳥取) 投資信託については誤答の生徒が非常に多かった。(愛媛)
8	1	23	1	良問であった。(静岡・鳥取)
9	1	24	0	良問であった。(静岡) 基本的なことをおさえており、難易度を含め適切である。問3もカタカナ10文字と書かれており、設問としても良問。(鳥取) 正式に書けている生徒が少なかった。(愛媛)
10	1	23	1	良問であった。(静岡・鳥取)
11	2	23	0	良問であった。(静岡) しっかりと読み込ませる良問揃い。読み込み熟考する力が必要。(鳥取)
12	0	25	0	良問であった。(静岡) しっかりと読み込ませる良問。力の差が出る、よく練られた出題。(鳥取)
13	1	23	1	良問であった。(静岡) 昨今の問題を捉えた出題であり、良問。(鳥取)
14	1	23	1	良問であった。(静岡) 問1は問作者の考えが反映された良問。設問も適切である。問2はマーケティングとの関連性もあり全般としてよく練られた良問。問作者のメッセージが伝わるような出題。(鳥取)

3. その他ご意見がありましたらお願いします

例年の傾向を押さえており、良問であった。(岐阜)
高校生の学ぶべき内容としてはこれくらいまでが適切、妥当なところではないかと思われる。しっかりと学習し、理解し、関心を高めた生徒であれば正答、合格点に達する出題であり、部分的に難易度の高いものがあっても、全体としては良問揃いと感じる。(鳥取)

令和2年度(第35回)　商業経済検定試験申込者・受験者・合格者数一覧表（令和3年2月7日実施）

NO	都道府県	本部校名	試験場校数	分会場校数	ビジネス基礎			マーケティング			経済活動と法			ビジネス経済A			ビジネス経済B			1・2級科目合計			総合計			1級合格者	2級合格者	3級合格者	合格者数総計
					申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格				
1	北海道	釧路商	32	7	433	400	312	2,059	1,912	1,434	968	883	506	684	632	411	182	148	95	3,893	3,575	2,446	4,326	3,975	2,758	824	1,228	2,364	4,416
2	青森県	三沢商	8	1	184	178	158	412	380	236	266	257	124	73	66	28	15	15	9	766	718	397	950	896	555	108	204	470	782
3	岩手県	大東	16	4	1,043	1,011	891	945	901	636	520	496	243	333	329	210	293	281	163	2,091	2,007	1,252	3,134	3,018	2,143	408	622	1,921	2,951
4	宮城県	鹿島台商	10	0	737	706	647	372	347	277	292	263	151	241	211	131	35	32	22	940	853	581	1,677	1,559	1,228	195	212	1,054	1,461
5	秋田県	能代松陽	6	1	416	407	374	221	220	139	65	65	32	175	172	114	3	3	3	464	460	288	880	867	662	105	103	582	790
6	山形県	山形市立商	9	2	573	568	528	499	485	316	225	213	112	243	235	131	166	162	101	1,133	1,095	660	1,706	1,663	1,188	254	253	1,035	1,542
7	福島県	帝京安積	15	0	292	291	236	659	638	451	234	206	110	192	182	108	11	11	5	1,096	1,037	674	1,388	1,328	910	169	381	786	1,336
8	茨城県	那珂湊	11	0	227	219	189	1,182	1,138	782	290	282	174	769	752	495	0	0	0	2,241	2,172	1,451	2,468	2,391	1,640	573	737	1,499	2,809
9	栃木県	宇都宮商	18	0	1,319	1,272	1,040	1,455	1,373	925	569	507	230	1,037	1,004	589	170	168	95	3,231	3,052	1,839	4,550	4,324	2,879	808	572	2,420	3,800
10	群馬県	太田	11	1	359	357	343	1,762	1,709	1,188	1,302	1,210	736	497	462	333	558	522	288	4,119	3,903	2,545	4,478	4,260	2,888	1,009	968	2,320	4,297
11	埼玉県	幸手桜	21	0	1,607	1,555	1,274	1,188	1,132	661	594	535	291	321	297	160	120	81	30	2,223	2,045	1,142	3,830	3,600	2,416	319	712	2,305	3,336
12	千葉県	千葉商	13	0	876	853	719	871	826	512	266	239	138	330	318	147	17	14	7	1,484	1,397	804	2,360	2,250	1,523	250	390	1,359	1,999
13	山梨県	富士北稜	8	1	392	372	334	428	380	237	465	439	250	135	125	80	195	178	134	1,223	1,122	701	1,615	1,494	1,035	228	317	879	1,424
14	東京都	葛飾商	15	0	1,427	1,285	1,040	738	682	393	319	285	138	347	311	168	63	56	28	1,467	1,334	727	2,894	2,619	1,767	257	355	1,652	2,264
15	神奈川県	横浜商	6	2	18	14	14	544	480	319	263	238	158	146	113	60	12	10	8	965	841	545	983	855	559	128	339	481	948
16	新潟県	長岡商	10	1	381	378	324	879	838	682	443	410	273	208	205	155	3	3	3	1,533	1,456	1,113	1,914	1,834	1,437	406	659	1,389	2,454
17	富山県	高岡商	7	0	579	555	523	726	695	409	262	246	108	626	586	349	142	136	69	1,756	1,663	935	2,335	2,218	1,458	384	347	1,254	1,985
18	石川県	大聖寺実業	12	1	498	483	436	460	426	287	113	75	21	278	267	218	0	0	0	851	768	526	1,349	1,251	962	219	129	784	1,132
19	福井県	北陸	9	0	172	165	148	711	679	425	169	162	74	434	426	277	70	68	45	1,384	1,335	821	1,556	1,500	969	285	352	785	1,422
20	長野県	須坂創成	10	0	505	485	430	598	579	398	535	509	267	124	116	75	17	16	12	1,274	1,220	752	1,779	1,705	1,182	183	459	1,072	1,714
21	静岡県	磐田西	22	0	988	941	754	1,798	1,734	1,056	681	647	245	635	616	339	67	62	42	3,181	3,059	1,682	4,169	4,000	2,436	527	780	2,061	3,368
22	愛知県	岡崎商	29	1	1,929	1,865	1,641	1,586	1,541	1,107	550	520	278	614	605	407	164	164	91	2,914	2,830	1,883	4,843	4,695	3,524	532	1,039	3,212	4,783
23	岐阜県	関商工	18	0	615	606	542	1,381	1,332	954	310	279	147	962	889	642	27	26	21	2,680	2,526	1,764	3,295	3,132	2,306	562	939	2,043	3,544
24	三重県	四日市商	10	0	530	511	432	428	413	321	61	56	21	209	189	121	56	55	23	754	713	486	1,284	1,224	918	146	224	802	1,172
25	滋賀県	日野	7	1	62	59	52	358	350	244	19	18	6	278	268	176	2	1	1	657	637	427	719	696	479	133	174	359	666
26	京都府	網野／丹後緑風	5	1	41	28	21	203	191	136	47	43	26	112	104	75	0	0	0	362	338	237	403	366	258	67	151	239	457
27	大阪府	淀商	12	0	753	690	574	507	429	239	109	89	57	192	180	114	26	23	13	834	721	423	1,587	1,411	997	135	194	903	1,232
28	兵庫県	神港橘	21	2	789	747	648	1,539	1,421	958	969	877	353	748	702	430	276	230	172	3,532	3,230	1,913	4,321	3,977	2,561	649	895	2,192	3,736
29	奈良県	奈良朱雀	4	0	345	327	262	360	342	282	213	209	199	44	40	16	15	12	7	632	603	504	977	930	766	220	262	744	1,226
30	和歌山県	神島	6	0	117	113	101	485	458	313	68	60	29	282	261	144	88	86	56	923	865	542	1,040	978	643	186	181	468	835
31	鳥取県	鳥取商	5	0	344	340	322	258	252	196	74	72	38	117	114	86	82	82	49	531	520	369	875	860	691	141	115	578	834
32	島根県	松江商	6	0	350	337	301	342	314	210	35	28	17	168	161	76	95	60	42	640	563	345	990	900	646	108	160	569	837
33	岡山県	岡山東商	19	1	1,531	1,438	1,230	1,455	1,369	1,068	170	151	68	678	642	446	304	270	187	2,607	2,432	1,769	4,138	3,870	2,999	610	903	2,743	4,256
34	広島県	福山商	11	1	350	341	316	868	722	365	112	87	41	302	287	132	107	92	15	1,389	1,188	553	1,739	1,529	869	135	327	778	1,240
35	山口県	萩商工	11	0	845	825	760	820	796	557	364	319	197	275	264	202	10	10	10	1,469	1,389	966	2,314	2,214	1,726	411	440	1,611	2,462
36	香川県	高松商	10	1	408	392	358	579	557	347	245	238	109	65	64	54	63	63	38	952	922	548	1,360	1,314	906	163	311	832	1,306
37	徳島県	徳島商	9	1	535	508	413	401	358	112	78	71	15	175	149	38	26	21	12	680	599	177	1,215	1,107	590	48	113	574	735
38	愛媛県	宇和島東	18	2	847	811	660	1,195	1,142	767	540	500	313	775	739	456	499	441	288	3,009	2,822	1,824	3,856	3,633	2,484	801	512	1,973	3,286
39	高知県	高知商	3	1	165	140	83	427	392	296	8	6	3	257	245	198	0	0	0	692	643	497	857	783	580	180	269	532	981
40	福岡県	久留米商	15	0	721	668	548	988	924	546	112	89	33	503	478	350	6	6	3	1,609	1,497	932	2,330	2,165	1,480	347	402	1,297	2,046
41	佐賀県	鳥栖商	7	0	497	489	445	326	318	251	82	79	46	91	87	73	6	6	6	505	490	376	1,002	979	821	108	168	721	997
42	長崎県	長崎商	11	1	923	907	809	652	637	461	68	63	38	378	366	249	16	13	9	1,114	1,079	757	2,037	1,986	1,566	267	314	1,390	1,971
43	熊本県	八代東	16	1	1,206	1,171	1,050	831	803	459	290	265	112	384	367	177	27	25	19	1,532	1,460	767	2,738	2,631	1,817	261	416	1,727	2,404
44	大分県	大分商業	15	2	861	825	697	479	464	302	382	306	200	178	169	126	23	21	9	1,062	960	637	1,923	1,785	1,334	192	366	1,255	1,813
45	宮崎県	小林秀峰	12	0	106	96	65	546	520	295	98	97	49	388	373	204	64	61	27	1,096	1,051	575	1,202	1,147	640	184	309	558	1,051
46	鹿児島県	串良商	29	2	1,843	1,739	1,349	1,373	1,301	724	356	340	182	450	426	221	135	132	69	2,314	2,199	1,196	4,157	3,938	2,545	396	670	2,415	3,481
47	沖縄県	名護商工	9	0	1,014	935	706	443	391	194	78	56	24	65	55	32	8	8	2	594	510	252	1,608	1,445	958	46	170	922	1,138
合計			587	39	30,753	29,403	25,099	37,337	35,291	23,467	14,279	13,085	6,982	16,518	15,649	9,823	4,264	3,874	2,328	72,398	67,899	42,600	103,151	97,302	67,699	14,667	20,143	59,909	94,719
合格率							85.4%			66.5%			53.4%			62.8%			60.1%			62.7%			69.6%				

令和2年度（第35回） 商業経済検定試験受験者数一覧表

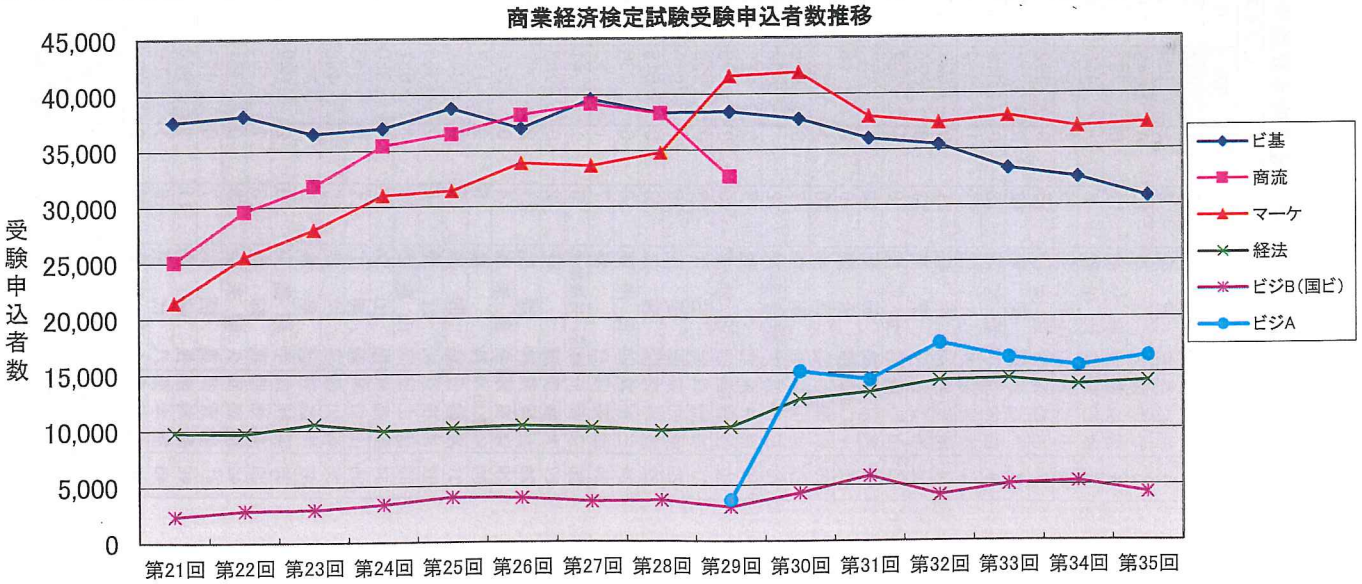
2021.3.10現在

NO.	都道府県名	本部校名	試験場校	分会場校	ビジネス基礎			マーケティング			経済活動と法			ビジネス経済A			ビジネス経済B			R2 受験者合計	R1 受験者合計	前年度比較
					R2	R1	増減	R2	R1	増減	R2	R1	増減	R2	R1	増減	R2	R1	増減			
1	北海道	釧路商	32	7	433	359	74	2,059	1,958	101	968	874	94	684	774	−90	182	153	29	4,326	4,118	208
2	青森県	三沢商	8	1	184	206	−22	412	370	42	266	202	64	73	91	−18	15	10	5	950	879	71
3	岩手県	大東	16	4	1,043	1,034	9	945	999	−54	520	581	−61	333	402	−69	293	305	−12	3,134	3,321	−187
4	宮城県	鹿島台商	11	0	737	882	−145	372	337	35	292	197	95	241	198	43	35	23	12	1,677	1,637	40
5	秋田県	能代松陽	6	1	416	423	−7	221	279	−58	65	92	−27	175	157	18	3	2	1	880	953	−73
6	山形県	山形市立商	9	2	573	568	5	499	548	−49	225	322	−97	243	125	118	166	292	−126	1,706	1,855	−149
7	福島県	帝京安積	15	0	292	338	−46	659	597	62	234	221	13	192	180	12	11	17	−6	1,388	1,353	35
8	茨城県	那珂湊	12	0	227	241	−14	1,182	1,066	116	290	176	114	769	850	−81	0	0	0	2,468	2,333	135
9	栃木県	宇都宮商	18	0	1,319	1,377	−58	1,455	1,583	−128	569	582	−13	1,037	1,020	17	170	234	−64	4,550	4,796	−246
10	群馬県	太田	11	1	359	395	−36	1,762	1,917	−155	1,302	1,172	130	497	515	−18	558	802	−244	4,478	4,801	−323
11	埼玉県	幸手桜	21	0	1,607	1,581	26	1,188	1,176	12	594	480	114	321	349	−28	120	147	−27	3,830	3,733	97
12	千葉県	千葉商	13	0	876	841	35	871	773	98	266	199	67	330	364	−34	17	17	0	2,360	2,194	166
13	山梨県	富士北稜	8	1	392	503	−111	428	428	0	465	283	182	135	162	−27	195	234	−39	1,615	1,610	5
14	東京都	葛飾商	15	0	1,427	1,699	−272	738	710	28	319	598	−279	347	450	−103	63	162	−99	2,894	3,619	−725
15	神奈川県	横浜商	6	2	18	33	−15	544	548	−4	263	238	25	146	198	−52	12	33	−21	983	1,050	−67
16	新潟県	長岡商	10	1	381	347	34	879	999	−120	443	496	−53	208	228	−20	3	2	1	1,914	2,072	−158
17	富山県	高岡商	7	0	579	602	−23	726	699	27	262	254	8	626	509	117	142	242	−100	2,335	2,306	29
18	石川県	大聖寺実業	12	1	498	503	−5	460	460	0	113	152	−39	278	251	27	0	23	−23	1,349	1,389	−40
19	福井県	北陸	9	0	172	226	−54	711	740	−29	169	112	57	434	472	−38	70	109	−39	1,556	1,659	−103
20	長野県	須坂創成	10	0	505	600	−95	598	644	−46	535	665	−130	124	67	57	17	69	−52	1,779	2,045	−266
21	静岡県	磐田西	23	0	988	977	11	1,798	1,789	9	681	517	164	635	444	191	67	94	−27	4,169	3,821	348
22	愛知県	岡崎商	29	1	1,929	1,839	90	1,586	1,648	−62	550	472	78	614	605	9	164	292	−128	4,843	4,856	−13
23	岐阜県	関商工	18	0	615	650	−35	1,381	1,334	47	310	360	−50	962	964	−2	27	35	−8	3,295	3,343	−48
24	三重県	四日市商	10	0	530	646	−116	428	345	83	61	94	−33	209	168	41	56	49	7	1,284	1,302	−18
25	滋賀県	日野	7	1	62	68	−6	358	361	−3	19	25	−6	278	272	6	2	9	−7	719	735	−16
26	京都府	網野／丹後緑風	5	1	41	20	21	203	213	−10	47	50	−3	112	97	15	0	0	0	403	380	23
27	大阪府	淀商	12	0	753	676	77	507	501	6	109	175	−66	192	171	21	26	3	23	1,587	1,526	61
28	兵庫県	神港橘	21	2	789	1,032	−243	1,539	1,855	−316	969	699	270	748	448	300	276	113	163	4,321	4,147	174
29	奈良県	奈良朱雀	4	0	345	355	−10	360	363	−3	213	213	0	44	55	−11	15	11	4	977	997	−20
30	和歌山県	神島	6	0	117	120	−3	485	374	111	68	93	−25	282	127	155	88	9	79	1,040	723	317
31	鳥取県	鳥取商	5	0	344	414	−70	258	226	32	74	46	28	117	77	40	82	76	6	875	839	36
32	島根県	松江商	6	0	350	331	19	342	369	−27	35	143	−108	168	105	63	95	95	0	990	1,043	−53
33	岡山県	岡山東商	19	1	1,531	1,607	−76	1,455	1,484	−29	170	151	19	678	755	−77	304	213	91	4,138	4,210	−72
34	広島県	福山商	11	1	350	969	−619	868	730	138	112	164	−52	302	205	97	107	75	32	1,739	2,143	−404
35	山口県	萩商工	11	0	845	738	107	820	787	33	364	443	−79	275	419	−144	10	10	0	2,314	2,397	−83
36	香川県	高松商	10	1	408	476	−68	579	521	58	245	259	−14	65	33	32	63	83	−20	1,360	1,372	−12
37	徳島県	徳島商	9	1	535	575	−40	401	420	−19	78	58	20	175	181	−6	26	41	−15	1,215	1,275	−60
38	愛媛県	宇和島東	18	2	847	813	34	1,195	1,143	52	540	589	−49	775	801	−26	499	472	27	3,856	3,818	38
39	高知県	高知商	3	1	165	161	4	427	336	91	8	17	−9	257	232	25	0	0	0	857	746	111
40	福岡県	久留米商	15	0	721	813	−92	988	910	78	112	65	47	503	363	140	6	10	−4	2,330	2,161	169
41	佐賀県	鳥栖商	7	0	497	526	−29	326	308	18	82	103	−21	91	78	13	6	80	−74	1,002	1,095	−93
42	長崎県	長崎商	11	1	923	731	192	652	617	35	68	82	−14	378	273	105	16	88	−72	2,037	1,791	246
43	熊本県	八代東	16	1	1,206	1,265	−59	831	568	263	290	233	57	384	510	−126	27	27	0	2,738	2,603	135
44	大分県	大分商業	15	2	861	885	−24	479	452	27	382	450	−68	178	162	16	23	62	−39	1,923	2,011	−88
45	宮崎県	小林秀峰	12	0	106	156	−50	546	711	−165	98	139	−41	388	264	124	64	280	−216	1,202	1,550	−348
46	鹿児島県	串良商	29	2	1,843	1,768	75	1,373	1,360	13	356	379	−23	450	436	14	135	173	−38	4,157	4,116	41
47	沖縄県	名護商工	9	0	1,014	1,129	−115	443	433	10	78	40	38	65	53	12	8	9	−1	1,608	1,664	−56
		合計	590	39	30,753	32,498	−1,745	37,337	36,989	348	14,279	13,955	324	16,518	15,660	858	4,264	5,285	−1,021	103,151	104,387	−1,236

商業経済検定試験受験者･合格者数集計一覧表

2021/3/10

回数	実施期日		受験申込者数	昨年比	実受験者数	合格者数	合格率
第25回	平成23年2月6日(日)	ビジネス基礎	38,797	1,783	36,583	30,171	82.5%
		商品と流通	36,514	1,080	33,813	17,227	50.9%
		マーケティング	31,405	371	28,685	16,158	56.3%
		経済活動と法	10,188	226	8,888	2,683	30.2%
		国際ビジネス	3,992	660	3,567	661	18.5%
		計	120,896	4,120	111,536	66,900	60.0%
		1 級				13,647	
		2 級				14,746	
第26回	平成24年2月5日(日)	ビジネス基礎	36,952	-1,845	34,616	28,769	83.1%
		商品と流通	38,219	1,705	35,459	13,122	37.0%
		マーケティング	33,925	2,520	31,347	13,030	41.6%
		経済活動と法	10,411	223	9,099	5,022	55.2%
		国際ビジネス	3,931	-61	3,516	1,253	35.6%
		計	123,438	2,542	114,037	32,427	53.7%
		1 級				12,760	
		2 級				12,502	
第27回	平成25年2月3日(日)	ビジネス基礎	39,604	2,652	37,040	29,797	80.4%
		商品と流通	39,216	997	36,053	15,271	42.4%
		マーケティング	33,621	-304	30,823	14,848	48.2%
		経済活動と法	10,262	-149	9,141	2,814	30.8%
		国際ビジネス	3,576	-355	3,192	931	29.2%
		計	126,279	2,841	116,249	63,661	54.8%
		1 級				12,330	
		2 級				14,191	
第28回	平成26年2月2日(日)	ビジネス基礎	38,368	-1,236	35,762	25,064	70.1%
		商品と流通	38,321	-895	35,735	18,514	51.8%
		マーケティング	34,791	1,170	32,399	11,571	35.7%
		経済活動と法	9,888	-374	8,966	3,585	40.0%
		国際ビジネス	3,682	106	3,275	767	23.4%
		計	125,050	-1,229	116,137	59,501	51.2%
		1 級				12,316	
		2 級				15,601	
第29回	平成27年2月1日(日)	ビジネス基礎	38,339	-29	36,002	25,936	72.0%
		商品と流通	32,606	-5,715	30,585	15,260	49.9%
		マーケティング	41,570	6,779	38,645	15,014	38.9%
		経済活動と法	10,188	300	9,265	4,508	48.7%
		国際ビジネス	3,033	-649	2,704	583	21.6%
		ビジネス経済A	3,678	-	3,477	978	28.1%
		計	129,414	4,364	120,678	62,279	51.6%
		1 級				13,688	
		2 級				15,848	
第30回	平成28年2月7日(日)	ビジネス基礎	37,747	-592	35,346	26,042	73.7%
		マーケティング	41,915	345	38,521	14,758	38.3%
		経済活動と法	12,625	2,437	11,354	3,149	27.7%
		ビジネス経済A	15,186	11,508	13,847	3,173	22.9%
		ビジネス経済B(国ビ)	4,273	1,240	3,852	1,246	32.3%
		計	111,746	-17,668	102,920	48,368	47.0%
		1 級				8,232	
		2 級				11,369	
第31回	平成29年2月5日(日)	ビジネス基礎	35,986	-1,761	33,653	26,672	79.3%
		マーケティング	37,956	-3,959	34,514	21,193	61.4%
		経済活動と法	13,293	668	11,779	4,619	39.2%
		ビジネス経済A	14,414	-772	12,924	6,821	52.8%
		ビジネス経済B	5,805	1,532	5,280	1,205	22.8%
		計	107,454	-4,292	98,150	60,510	61.7%
		1 級				10,029	
		2 級				18,774	
第32回	平成30年2月4日(日)	ビジネス基礎	35,407	-579	32,928	26,168	79.5%
		マーケティング	37,380	-576	34,147	16,529	48.4%
		経済活動と法	14,345	1,052	12,836	5,231	40.8%
		ビジネス経済A	17,707	3,293	16,154	6,709	41.5%
		ビジネス経済B	4,076	-1,729	3,647	1,651	45.3%
		計	108,915	1,461	99,712	56,288	56.5%
		1 級				10,519	
		2 級				14,983	
第33回	平成31年2月3日(日)	ビジネス基礎	33,294	-2,113	31,085	19,035	61.2%
		マーケティング	37,968	588	34,767	16,134	46.4%
		経済活動と法	14,506	161	13,089	6,647	50.8%
		ビジネス経済A	16,409	-1,298	15,005	7,950	53.0%
		ビジネス経済B	5,048	972	4,663	2,502	53.7%
		計	107,225	-1,690	98,609	52,268	53.0%
		1 級				11,750	
		2 級				16,084	
第34回	令和2年2月2日(日)	ビジネス基礎	32,498	-796	30,600	24,568	80.3%
		マーケティング	36,989	-979	34,387	14,838	43.2%
		経済活動と法	13,955	-551	12,757	7,639	59.9%
		ビジネス経済A	15,660	-749	14,651	9,395	64.1%
		ビジネス経済B	5,285	237	4,791	1,933	40.3%
		計	104,387	-2,838	97,186	58,373	60.1%
		1 級				12,701	
		2 級				15,379	
第35回	令和3年2月7日(日)	ビジネス基礎	30,753	-1,745	29,403	25,099	85.4%
		マーケティング	37,337	348	35,291	23,467	66.5%
		経済活動と法	14,279	324	13,085	6,982	53.4%
		ビジネス経済A	16,518	859	15,649	9,823	62.8%
		ビジネス経済B	4,264	-1,021	3,874	2,328	60.1%
		計	103,151	-1,236	97,302	67,699	69.6%
		1 級				14,667	
		2 級				20,143	



令和２年度　第35回商業経済検定試験 第１級満点賞一覧表

No.	年度	回数	都道府県	所属学校名	学年	該当科目
9	令和2年度	35	静岡県	静岡県立静岡商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済Ａ
10			愛知県	愛知県立東海商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済Ａ
11			山口県	山口県立岩国商業高等学校	2	マーケティング 経済活動と法

＜商業経済検定試験 第１級満点賞＞

・同一年度受験の１級対象科目のうち、２科目以上で満点を得たものには、満点賞を授与する。
・平成８年度第１１回検定より実施

＜過去の受賞歴＞

No.	年度	回数	都道府県	所属学校名	学年	該当科目
1	平成8年度	11	沖縄県	沖縄県立南風原高等学校	1	商業経済 商業法規
2	平成22年度	25	静岡県	城南静岡高等学校	3	商品と流通 マーケティング
3	平成28年度	31	福島県	福島県立白河実業高等学校	3	マーケティング ビジネス経済Ａ
4			山口県	山口県立防府商工高等学校	2	マーケティング ビジネス経済Ａ
5	平成29年度	32	三重県	三重県立四日市商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済Ａ
6	平成30年度	33	群馬県	太田市立太田高等学校	3	マーケティング 経済活動と法
7			福井県	福井県立福井商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済Ａ
8			愛媛県	愛媛県立松山商業高等学校	1	マーケティング ビジネス経済Ａ

令和2年度 第35回商業経済検定試験　全科目合格者表彰一覧表

No	都道府県	学　校　名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
1	北海道	北海道千歳高等学校	4	19
2		北海道釧路商業高等学校	7	
3		北海道留萌高等学校	1	
4		北海道岩見沢緑陵高等学校	1	
5		北海道帯広南商業高等学校	6	
6	青森県	青森県立八戸商業高等学校	1	1
7	岩手県	岩手県立盛岡商業高等学校	27	41
8		岩手県立水沢商業高等学校	12	
9		岩手県立宮古商工高等学校	1	
10		岩手県立大東高等学校	1	
11	宮城県	宮城県志津川高等学校	1	12
12		東北生活文化大学高等学校	11	
13	秋田県	秋田県立大館国際情報学院高等学校	2	3
14		秋田県立能代松陽高等学校	1	
15	山形県	山形県立米沢商業高等学校	3	15
16		山形市立商業高等学校	12	
17	栃木県	栃木県立宇都宮商業高等学校	39	73
18		栃木県立栃木商業高等学校	8	
19		栃木県立佐野松桜高等学校	18	
20		栃木県立足利清風高等学校	8	
21	群馬県	群馬県立高崎商業高等学校	47	50
22		群馬県立伊勢崎商業高等学校	3	
23	埼玉県	埼玉県立浦和商業高等学校	2	3
24		筑波大学附属坂戸高等学校	1	
25	千葉県	千葉経済大学附属高等学校	2	3
26		千葉商科大学付属高等学校	1	
27	山梨県	甲府市立甲府商業高等学校	3	3
28	東京都	東京都立芝商業高等学校	1	6
29		東京都立第一商業高等学校	1	
30		東京都立第四商業高等学校	1	
31		東京都立第五商業高等学校	3	
32	神奈川県	神奈川県立小田原東高等学校	1	4
33		神奈川県立厚木商業高等学校	1	
34		横浜市立横浜商業高等学校	2	
35	新潟県	新潟県立新潟商業高等学校	1	2
36		新潟県立新発田商業高等学校	1	
37	富山県	富山県立高岡商業高等学校	5	7
38		富山県立新湊高等学校	1	
39		富山県立石動高等学校	1	
40	石川県	石川県立金沢商業高等学校	1	1
41	福井県	福井県立武生商業高等学校	8	8
42	長野県	長野県諏訪実業高等学校	2	6
43		長野県須坂創成高等学校	1	
44		松商学園高等学校	3	
45	静岡県	静岡県立静岡商業高等学校	1	2
46		富士市立高等学校	1	

No	都道府県	学　校　名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
47	愛知県	愛知県立愛知商業高等学校	3	18
48		愛知県立犬山高等学校	7	
49		愛知県立古知野高等学校	3	
50		愛知県立豊橋商業高等学校	2	
51		名古屋市立西陵高等学校	3	
52	三重県	三重県立津商業高等学校	2	3
53		三重県立宇治山田商業高等学校	1	
54	滋賀県	彦根総合高等学校	1	1
55	大阪府	大阪市立淀商業高等学校	1	1
56	兵庫県	兵庫県立神戸商業高等学校	5	12
57		兵庫県立洲本実業高等学校	1	
58		兵庫県立姫路商業高等学校	1	
59		兵庫県立氷上高等学校	1	
60		尼崎市立尼崎双星高等学校	3	
61		神戸市立神港橘高等学校	1	
62	和歌山県	和歌山県立神島高等学校	1	1
63	鳥取県	鳥取県立鳥取商業高等学校	5	5
64	岡山県	岡山県立西大寺高等学校	4	13
65		岡山県立岡山南高等学校	1	
66		岡山県立笠岡商業高等学校	4	
67		岡山県立勝山高等学校	2	
68		岡山市立岡山後楽館高等学校	2	
69	広島県	広島県立呉商業高等学校	1	1
70	山口県	山口県立防府商工高等学校	4	6
71		山口県立西京高等学校	1	
72		長門高等学校	1	
73	香川県	香川県立坂出商業高等学校	2	2
74	徳島県	徳島県立徳島商業高等学校	3	3
75	愛媛県	愛媛県立松山商業高等学校	65	119
76		愛媛県立三島高等学校	3	
77		愛媛県立西条高等学校	2	
78		愛媛県立東温高等学校	2	
79		愛媛県立大洲高等学校	5	
80		愛媛県立八幡浜高等学校	18	
81		愛媛県立宇和島東高等学校	23	
82		松山城南高等学校	1	
83	熊本県	熊本県立熊本商業高等学校	6	10
84		熊本県立翔陽高等学校	1	
85		熊本信愛女学院高等学校	3	
86	大分県	大分県立日出総合高等学校	1	4
87		大分県立中津東高等学校	3	
88	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島南高等学校	16	26
89		鹿児島県立川内商工高等学校	1	
90		鹿児島県立串良商業高等学校	1	
91		鹿児島県立明桜館高等学校	7	
92		津曲学園鹿児島高等学校	1	

令和2年度合計　92校　484名

過去の表彰校・表彰者数合計一覧表

年度	平成17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1
表彰校	18	31	58	62	79	74	95	90	79	78	69	65	80	78	92
表彰者	32	77	197	152	232	211	366	300	344	310	255	271	241	416	448

※令和3年3月3日現在
※平成17年度より実施

令和２年度　科目別・項目別出題基準

科目・項目は，文部科学省高等学校学習指導要領・商業編の分類による。

【3級科目】

ビジネス基礎

(1) 商業の学習ガイダンス(出題範囲から除く)	
(2) ビジネスとコミュニケーション	5問
(3) ビジネスと売買取引	15問
(4) 経済と流通の基礎	20問
(5) 企業活動の基礎	10問
	各2点・計50問

※形式別の出題内訳は以下の通りとする。

直接解答型20問(4題×5問)，本文参照型30問

※直接解答型の出題形式は以下の4種類とする。

①関連事項の結合問題

②一定条件による細目分類問題

③解答群付きの空欄補充問題

④下線部の正誤判定・訂正問題

経済活動と法

(1) 経済社会と法		5問
(2) 権利・義務と財産権		15問
(3) 取引に関する法		25問
※「手形と小切手の利用」と「金融取引」については、(4)に含める。		
(4) 会社に関する法	(5問)	5問
(5) 企業の責任と法	(5問)	
		各2点・計50問

※(4)と(5)は，いずれか1項目(5問)を選択するものとする。

【1・2級科目】

マーケティング

(1) 現代市場とマーケティング	7問
(2) 市場調査	7問
(3) 消費者の購買行動	6問
(4) 商品計画と価格の決定	15問
(5) 販売経路と販売促進	15問
	各2点・計50問

ビジネス経済A

(1) ビジネスと経済	7問
(2) 需要と供給	7問
(3) 価格決定と市場の役割	11問
(4) 経済成長と景気循環	15問
(5) 経済政策	10問
	各2点・計50問

ビジネス経済B

(1) サービス経済化とサービス産業	6問
(2) 経済の国際化	15問
(3) 金融市場と資本市場	7問
(4) 企業経営	15問
(5) ビジネスの創造と地域産業の振興	7問
	各2点・計50問

a．設問数はいずれも基準であり，年度によって各項目の設問に若干の異同がある。

b．3級科目の出題形式は直接解答型と本文参照型とし，1・2級科目はすべて本文参照型とする。

c．1・2級科目については，3級の内容を踏まえたものとする。

令和３年度　科目別・項目別出題基準

科目・項目は，文部科学省高等学校学習指導要領・商業編の分類による。

【3級科目】

ビジネス基礎

(1) 商業の学習ガイダンス(出題範囲から除く)	
(2) ビジネスとコミュニケーション	5問
(3) ビジネスと売買取引	15問
(4) 経済と流通の基礎	20問
(5) 企業活動の基礎	10問
	各2点・計50問

※形式別の出題内訳は以下の通りとする。

直接解答型 20問(4題×5問)，本文参照型 30問

※直接解答型の出題形式は以下の4種類とする。

①関連事項の結合問題

②一定条件による細目分類問題

③解答群付きの空欄補充問題

④下線部の正誤判定・訂正問題

経済活動と法

(1) 経済社会と法		5問
(2) 権利・義務と財産権		15問
(3) 取引に関する法		25問

※「手形と小切手の利用」と「金融取引」については、(4)に含める。

(4) 会社に関する法	(5問)	5問
(5) 企業の責任と法	(5問)	

各2点・計50問

※(4)と(5)は，いずれか1項目(5問)を選択するものとする。

【1・2級科目】

マーケティング

(1) 現代市場とマーケティング	7問
(2) 市場調査	7問
(3) 消費者の購買行動	6問
(4) 商品計画と価格の決定	15問
(5) 販売経路と販売促進	15問
	各2点・計50問

ビジネス経済A

(1) ビジネスと経済	7問
(2) 需要と供給	7問
(3) 価格決定と市場の役割	11問
(4) 経済成長と景気循環	15問
(5) 経済政策	10問
	各2点・計50問

ビジネス経済B

(1) サービス経済化とサービス産業	6問
(2) 経済の国際化	15問
(3) 金融市場と資本市場	7問
(4) 企業経営	15問
(5) ビジネスの創造と地域産業の振興	7問
	各2点・計50問

a．設問数はいずれも基準であり，年度によって各項目の設問に若干の異同がある。

b．3級科目の出題形式は直接解答型と本文参照型とし，1・2級科目はすべて本文参照型とする。

c．1・2級科目については，3級の内容を踏まえたものとする。